



せんしょう苑
望洋荘 便り

第109号
平成24年
12月発行

社会福祉法人「りんさく福祉会」

設立十周年を迎えるにあたって

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 混

社会福祉法人りんさく福祉会は、平成十四年四月に、福島県及びいわき市の行政指導の下、設置の認可を受けました。それに伴って、介護老人福祉施設「望洋荘」、シヨートステイ「望洋荘しおやぎ」の事業開始の認可を受け、各施設の計画検討の後に建築に入りました。当時のりんさく福祉会役員は、村上正明、四家富藏、須田混、大森勝壽、水野忠一、須田美保子、飯塚博之、松本興三、田子知良、佐藤仁一、藤社長輔、遠藤ユリ、吉田裕子、松田克彦、竹沢将俊、森勝義、坂本百與（敬称略）の方々でした。役員の御協力により無事これらの建築が順調に進み、事業開始許可から約一年後の平成十五年十二月一日に開所の運びとなりました。以来、職員全体が一丸となって、施設利用者の方々に介護支援・自立支援を当然の事として努力を継続してくれました。当法人の理事長として、ここまで無事入所者、家族の期待に応えてくれたことに深く感謝をいたします。

平成十八年五月には、居宅介護支援事業所「望洋荘豊間」を開設、更に昨年十一月には、私も社会福祉法人りんさく福祉会の新たな事業として、いわき市内郷に、地域密着型小規模特別養護介護施設「せんしょう苑」を開設し、軌道に乗り始めています。この事業は平成二十三年三月十一日の東日本大震災の影響にて完成が危ぶまれましたが、若干の遅れは見たものの平成二十四年十一月一日に

開所することが出来ました。その陰には地主の武田様のご好意、請負建設業者（常磐開発）等の並々ならぬご尽力があったことをここに付記する次第です。

法人設立十周年に当たってあらためて、この法人が目的とする、「生活を支える介護・人間らしく生きる介護」の時代の即応できる施設、家庭的な雰囲気のもと、「生活を共にしていくケア・一人一人の暮らしを支えるケア」に対応できる優しい心を持った職員を養成することに私も役員は強く心しなければと思っています。

これらの理念を掲げて綴った、この一年間の望洋荘・せんしょう苑便りの巻頭言のタイトルを列挙しました。その中から私も職員の理念を僅かなりとも感じ取って頂ければ誠に幸いです。

(九七) 「望洋荘」開設九周年をむかえるにあたって

— 「かせぎ」と「つとめ」について—

(九八) 足ることを知る

(九九) 物を大事にするという事

(壹百) 望洋荘便り百号発行記念に寄せて

— 東日本大震災復興元年に思う—

(百一) チッキの思い出

(百二) 「リヤカー」の思い出

(百三) 望洋荘における震災復興支援コンサートに感謝す。

— 愛知県医師会交響楽団の大演奏会—

(百四) 当社福りんさく福祉会理事長 福島県知事表彰受賞

(百五) 新盆、高燈籠に思う

(百六) 豊間の復興を祈る。「豊間のゴジラ」移設お披露目

— 「第九回望洋荘祭り」開催—

(百七) ひざ(膝)の痛みのケア

(百八) せんしょう苑開設一年を振り返って



クリスマス



十二月二三日
（日）午後二時より各ユニットでクリスマス会を開催致しました。今年は職員の新メンバーSSBフォーが各ユニットを歌と踊りで巡回しました。入居者様は突然のパフォーマンスに始めは驚いた様子でしたが直ぐに音楽に合わせて調子を取って、楽しんでおられました。



十二月二三日（土）望洋荘裏山にあります大山祇神社例祭を行いました。今年には氏神様の石碑を新しく建立しました。
式典には、いわき市豊間施業森林組合長 馬目政俊様、会計 四家伸明様、豊間区長 鈴木徳夫様、諏訪神社神主 大峰常矩様、理事長、施設長以下当施設職員が出席し厳かに執り行ないました。

大山祇神社例祭

今年各ユニットで、それぞれ独自のクリスマス飾り付けをし、その結果を点数化して競い合いました。ユニットの独自性が発揮され、とても素晴らしい装飾となりました。来年は果たしてどのユニットが優勝するのでしょうか。

優勝 薄磯ユニット
準優勝 勿来ユニット



新入職員紹介

介護士 白石 貴子



入社して未だ日も浅く、毎日が勉強の日々です。入居者様や先輩職員から多くの事を学びつつ、色々と指導して頂いております。皆様から一日も早く信頼される介護職員になれる様、努力していきますのでどうぞ宜しくお願い致します。

看護師 千尋 智子



九月より勤務させて頂いております。以前は内科医院の看護師として働いておりました。望洋荘での仕事は初めての事ばかりで戸惑う事だらけです。一日も早く仕事を覚え、入居者様のサポートをして行きたいです。これからも皆さんのお役に立てる様、頑張つてまいりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

イルミネーション

電飾を飾った夜のゴジラも迫力があり綺麗ですよ。是非是非、見に来て下さい。



「クリスマス会」

十二月二十五日(火)午後から各ユニットでクリスマス会を開催しました。今年では体調を崩された入居者様が多く全体でのクリスマス会は中止となりましたが、職員が心を込めて作った写真とメッセージが入ったクリスマスカードに入居者様も大喜びでした。また全員にピンクのストライプが入った可愛いタオルをプレゼントしました。何故か?貰ったタオルを頭や首に巻かれる入居者様が多く、それがサンタさんのようでクリスマス会に花を添えていた感じでした。お茶を飲みケーキを食べながらみんなで談笑したり、歌を唄ったりの楽しいクリスマス会でした。



「誕生会」& 「釜飯昼食会」

十二月一日(土)正午より、中村武男さん八十四歳の誕生会を兼ねて、釜飯を出前で取って昼食会を実施いたしました。中村さんのご家族がみんなでお父の誕生日を祝ってくださいとバスディーケーキを準備して下さいました。中村さんがケーキの蝋燭を吹き消してからお食事会に移りました。釜飯はあつあつほかほか、たくさんのお蟹やいくらが入っていて見ただけでもよだれが出そうでした。職員も一緒に家族団欒な雰囲気です。美味しくいただきました。職員も一緒に家族団欒な雰囲気です。美味しくいただきました。職員も一緒に家族団欒な雰囲気です。美味しくいただきました。



ゲストでお食事会

十二月十一日(火)十一時から入居者様三名で「ゲスト」に食事に行つて来ました。今回はイタリアンがメインでピザやポテトフライをお腹いっぱい食べてきました。ビールのお供にも最高のこと。他にもマグロたたき丼を頼める姿もありました。



釜飯で昼食会
—みまや西—

十二月七日(金)正午から「みまや西」ユニットで釜飯の出前を取って昼食会を行いました。きっかけは、日頃から新聞広告を見ている入居者様からの要望でした。それぞれ好きな具材の釜飯を注文して普段と違う昼食にとっても美味しいと大満足の様子でした。



